

平成30年度 全国学力・学習状況調査結果

全国一斉に実施された全国学力・学習状況調査の佐呂間町の結果について概要をお知らせします。

教科に関する調査

- 【国語A、算数・数学A】 知識に関する調査
- 【国語B、算数・数学B】 活用に関する調査
- 【理科】 知識と活用に関する一体的な調査

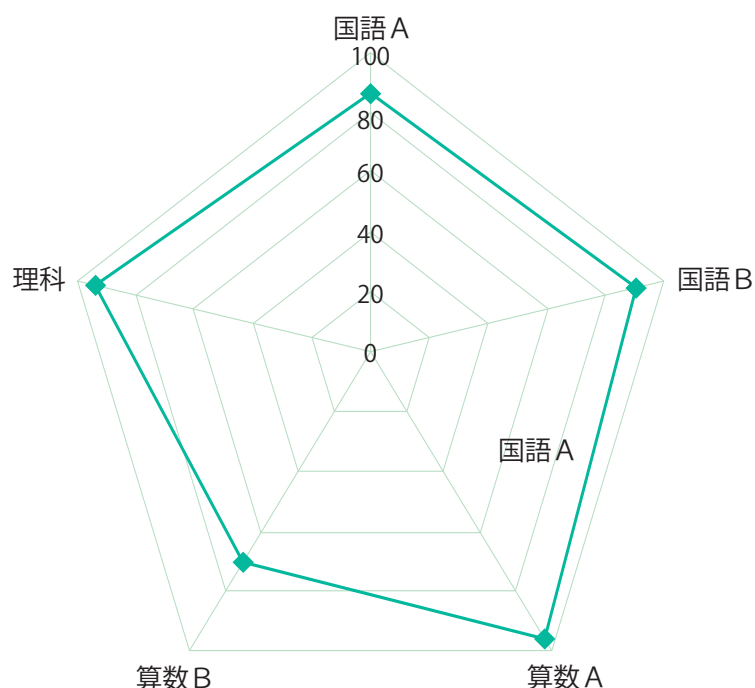
児童生徒、学校に対する調査

生活環境や学校環境に関するアンケート調査

小学校6年生

教科に関する調査(全国平均を100とした場合の数値)

国語A	国語B	算数A	算数B	理科
86.3	91.4	96.1	71.8	94.5



児童に対する調査 (アンケート調査)	佐呂間町	全国
朝食を毎日食べている	83.8%	94.5%
毎日同じ時刻に起きている	59.4%	77.0%
平日1時間以上家庭学習している	35.1%	66.2%
平日30分以上読書している	21.6%	41.1%
家で学校の宿題をする	91.9%	59.4%
自分で計画を立てて家庭学習をしている	59.4%	67.6%
将来の夢や目標を持っている	81.1%	85.1%
人の役に立つ人間になりたい	97.3%	95.2%

結果の分析

国語A・B、算数A・Bおよび理科、すべての科目について全国平均を下回っており、各教科の基礎・基本やその応用においても学習内容の定着が課題となりました。

領域別にみると、国語Aの「書くこと」の領域が全国平均を上回っていますが、他の領域「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が全国平均を下回っており、特に漢字の書き取りでは全国平均を大きく下回っているのが特徴的でした。また、算数Bでは全領域「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」において全国平均を大きく下回っており、図形や数量関係の文章表現の理解や数学的な考え方の活用について苦手であることが読み取れます。

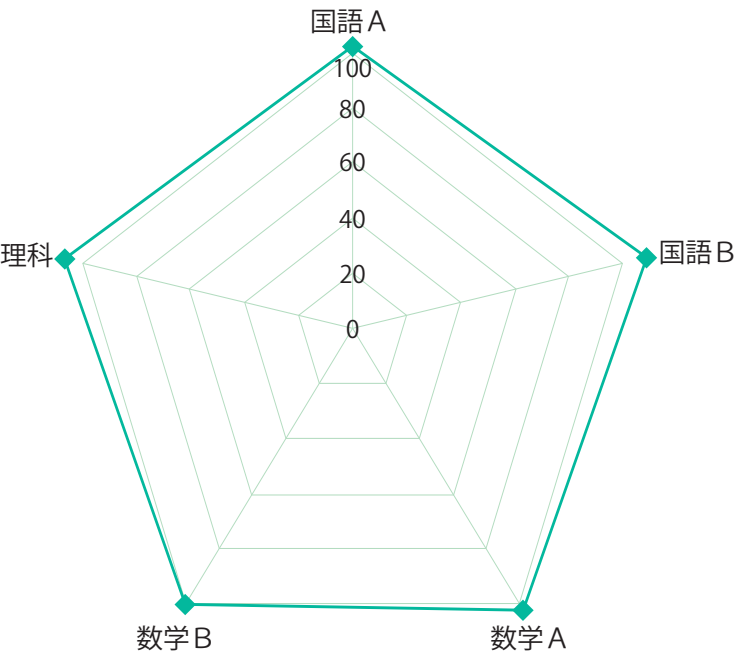
児童のアンケート調査では、多くの児童が「将来の夢や希望を持っている」と答え、また、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の問いには多くの児童が「当てはまる」と答えており、自分の将来について考え、学校生活を送っていることがうかがえます。

学校のアンケート調査では、各学校とも指導法の工夫・改善を中心に研修に取り組み、学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいることがうかがえました。

中学校 3 年生

教科に関する調査(全国平均を 100とした場合の数値)

国語 A	国語 B	数学 A	数学 B	理科
102. 5	111. 1	101. 4	100. 2	105. 9



生徒に対する調査 (アンケート調査)	佐呂間町	全国
朝食を毎日食べている	87. 2%	91. 9%
毎日同じ時刻に起きている	79. 5%	74. 2%
平日 1 時間以上家庭学習をしている	43. 6%	70. 6%
平日 3 0 分以上読書をしている	30. 7%	30. 9%
家で学校の宿題をする	89. 7%	91. 6%
自分で計画を立てて家庭学習をしている	46. 2%	52. 1%
新聞をほぼ毎日読んでいる	5. 1%	4. 9%
テレビやインターネットのニュースを見ている	89. 7%	86. 6%

結果の分析

国語 A・B および 数学 A・B、理科、すべての科目について全国平均を上回り、各教科の基礎・基本の定着が図られている結果となりました。

領域別にみると、国語 A の「書くこと」、数学 A の「関数」、数学 B の「数と式」「図形」の領域が全国平均を下回りましたが、国語 B の「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域で全国を 1 4. 9 ポイント上回るなど、多くの領域で全国平均を上回る結果となりました。

生徒のアンケート調査では、きちんとした生活習慣、学校の宿題をするなど真面目な面が見られます。また、新聞を見る生徒の割合が少ない一方、テレビやインターネットでニュースなどの社会情報を多く取り入れている状況がうかがえます。

学校のアンケート調査では、教育課程の趣旨について家庭と共有を図り、指導法の工夫・改善等の研修、学習規律の改善指導に徹底して取り組んでおり、基礎・基本の定着が図られるという成果が表れています。

さらに、生徒自身が自分なりの学習の取り組み方を工夫し、身に付けることで、学力向上が図られていくと考えられます。

今後の学力向上に向けて

- ◆町内教職員で組織する「学力向上推進委員会」において、学力・学習状況調査の分析や家庭学習のさらなる定着、ICT を活用した授業等について研究し、町全体の取り組みを推進していきます。
- ◆佐呂間町単独で教員を配置し、放課後学習や少人数学級の設置などのきめ細やかな指導の充実を図っていきます。
- ◆学びの連続性を保障するために、保育所・小学校・中学校・高等学校間の交流や連携強化に努めていきます。
- ◆町内の学校が、それぞれ本調査の分析をもとに成果と課題を明確にし、課題解決に向けて一層の実践の推進を図っていきます。